

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	24006	道路新設改良事業(道野12号線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	款	08:土木費
	施策の方向	03:道路の安全性と防災機能の向上	項目	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	-	目	03:道路新設改良費	
事業予定期間	H 24 ~ H 28 年度	主な根拠法令要綱等	道路法・道路構造令	

② 目的・概要	対象	市民、来訪者、通過車両
	目的	道野12号線は道野地区における約560mの生活道路であり、道野地区から神辺小学校への通学路にも指定されているが、亀山・関テクノヒルズへの通過交通や、亀山スマートICの利用者等の通行があり、地域住民や児童にとって危険な状況となっている。このことから道路利用者の安全性を向上するために道路の拡幅と歩道設置を実施するものであり、既に全560mの区間の内470mの整備が完了している。
概要	概要	・計画延長 L=560m ・幅員 7.5m(1車線、片側歩道)

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	道路工事	道路工事	道路工事			
	道路工事に伴う農業用施設修繕	道路工事に伴う農業用施設修繕	道路工事に伴う農業用施設修繕			
	計画額	事業費	33,600千円	31,000千円		
		国庫支出金	9,700千円	17,050千円		
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源	23,900千円	13,950千円			
	予算額	事業費	31,300千円	23,776千円		
		国庫支出金	9,356千円	13,076千円		
県支出金						
地方債						
その他						
一般財源	21,944千円	10,700千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		64,600千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円	総事業費 (①+②)	64,600千円

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
④ 指標	①	名称	整備進捗率	計画値	52	100
		補足	実施済み事業費/総事業費		単位	%
	②	名称		計画値		
		補足			単位	
	③	名称		計画値		
		補足			単位	
	④	名称		計画値		
		補足			単位	

# 事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	24006	道路新設改良事業(道野12号線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務	款 08:土木費
施策体系	施策の方向	03:道路の安全性と防災機能の向上	科	項 02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	-	目	目 03:道路新設改良費

② 目的・概要	対象	市民、来訪者、通過車両
	目的	道野12号線は道野地区における約560mの生活道路であり、道野地区から神辺小学校への通学路にも指定されているが、亀山・関テクノヒルズへの通過交通や、亀山スマートICの利用者等の通行があり、地域住民や児童にとって危険な状況となっている。このことから道路利用者の安全性を向上するために道路の拡幅と歩道設置を実施するものであり、既に全560mの区間の内470mの整備が完了している。
概要	・計画延長 L=560m ・幅員 7.5m(1車線、片側歩道)	

		27年度	28年度
①	名称	整備進捗率	計画値 52
	補足	実績値	100
		単位	48
		%	%
②	名称	整備進捗率	計画値
	補足	実績値	
		単位	
③	名称	整備進捗率	計画値
	補足	実績値	
		単位	
④	名称	整備進捗率	計画値
	補足	実績値	
		単位	

年度計画				年度実績				
道路工事 道路工事に伴う農業用施設修繕				道路工事 道路工事に伴う農業排水施設工事				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	439	
		国庫支出金	9,700	13,076	14,807	一般職員人件費 ②	439	平均給与額×③
		県支出金		0		所要人員 ③	0.06	
		地方債		0		臨時職員人件費 ④	0	
		その他		0		受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源	21,300	28,860	12,115	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再	翌年度への繰越額		13,100			
		掲	前年度からの繰越額		18,160			
		総人件費			①	439		
		総コスト			⑥	27,361		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成24年度から進めている道路拡幅と歩道設置工事も平成28年度にて完成した。歩道が設置されたことにより、神辺小学校へ通学する児童、地域住民の安全性の向上を図ることができた。	総合判定
			A

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	長年の年月を要し完成したが、国の社会資本整備総合交付金の配分率が年々低下してきた事、また、用地交渉において時間を要した事など様々なことを解決し、地元への丁寧な説明が重要である。
---------	----------	--

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	事業を進めるにあたり、地元要望、用地取得関係者の同意も頂き、丁寧な説明を行いながら進めていく。
---------	----------	---

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳
--------------	---------	-----------------------